一般会計の予算規模は、過去最大となりました。

歳入では、昨年新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減を見込んだ市民税が、企業収益の増加等により増となる見込みです。一方、市債は前年比13億円の大幅な減となっていますが、これは交付税の一部が振り替わる臨時財政対策債が約10億円の減となることによるもので、交付税と臨時財政対策債との合計値である実質的な交付税は前年とほぼ同水準を見込んでいます。

歳出では、地域DXの推進やAIオンデマンドを取り入れた新しい地域公共交通の構築など、DX推進による便利で暮らしやすいまちの実現に向けた新たなチャレンジに約2億円が計上されています。なお、歳出の多くを占める補助費等や繰出金は、そのほとんどが一部事務組合や広域連合、特別会計への支出となっており、総額で約63億円にのぼります。

用語の説明

義務的経費… 毎年必ず支出しなければな

らない経費 **、件費……** 特別職と一般職員に対する

給料や報酬 扶助費・・・・・・・ 高齢者、障害者、児童のた

> めの福祉サービスや生活保 護、医療費など給付に係る

経費

公債費…… 市の借金である市債の元

金、利子の返済金 投資的経費… 長期にわたり使用する社会

資本整備に要する経費 普通建設事業費 道路や学校、保育園など建

設・改良に係る経費 その他の経費 義務的経費、投資的経費以

外の経費

補助費等…… 一部事務組合や各種団体、 個人などに支出する補助金

や負担金

物件費…… 消費的な性質を持つ経費

で、消耗品費や光熱水費、使用料、委託料などの経費

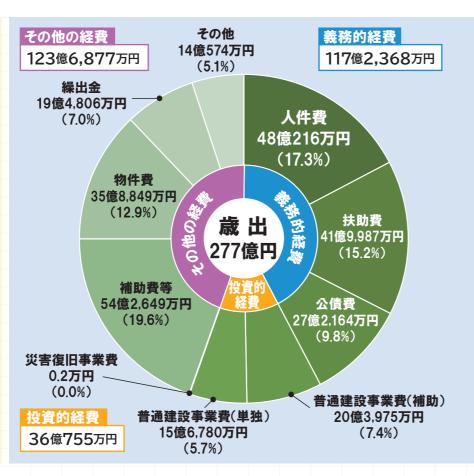
繰出金…… 一般会計から特別会計へ支

出する経費

その他…… 公共施設などを維持するた

めの維持補修費や貸付金

めいねなど



令和4年度の予算一歩先の未来へ踏み出す予算

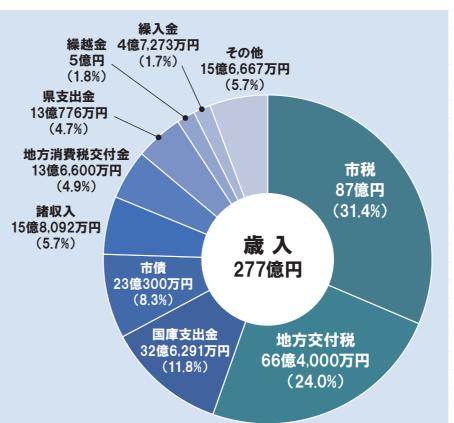
一般会計 277億円 (対前年比3億円(1.1%)の増)

※公立諏訪東京理科大学交付税相当分を除く実質的な予算 258億1.500万円(対前年比3.6億円(1.4%)の増) 令和4年度予算の詳細や具体 的な事業内容などは「茅野市 予算概要」(市ホームページ に掲載)をご覧ください。



全 会 計 419億2,056万円(対前年比5,164万円(0.1%)の増)

※全会計 ··· 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険診療所特別会計、 水道事業会計、下水道事業会計、財産区特別会計(45財産区)



令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染症を 乗り越え、ポストコロナ時代の新たなまちづくりを スタートさせるための「一歩先の未来へ踏み出す 予算」を編成しました。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束の見通しが立たない状況であり、この難局を乗り越えることが令和4年度の最重要課題となっています。一方で、コロナ禍における新しい人の流れは、茅野市へ多くの転入者をもたらしています。この好機を逸することなく、これまで以上に便利で暮らしやすさを実感できるまちづくりを進める必要があります。

また、今後も人口減少、少子高齢化の進展が予想される中で、地域のコミュニティ力を維持していくため、これまでの相互扶助の仕組みを変革しなければならない時期も迎えています。

そこで、茅野市では、令和4年度を「DX元年」 とし、市民生活の安全・安心を確保しながら、市 民目線で便利で暮らしやすさを実感できる「たく ましく、やさしい、しなやかな交流拠点CHINO」 に向け、デジタル田園健康特区への取り組みなど、 新たなまちづくりにチャレンジしていきます。

一般会計の市債・基金の状況

市債は、前年度に永明小中学校建設関連事業へ起債を活用したことなどにより残高が増加する見込みで、令和4年度未残高は約278億円の見込みとなっています。

基金は、令和3年度に基金積立を行ったことにより、令和元年度末と同水準となる見込みですが、一般会計の予算編成においては、依然として基金に頼らざる得ない状況が続いており、引き続き厳しい行財政運営が続くことが予想されます。





予算を家計に例えると…

市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純には比べられませんが、1か月の収支が30万円の家計に 置き換えると、次のようになります。

《収 入》	令和4年度	前年度との比較
給与	237,581円	14,799円
うち基本給(市税)	94,224円	6,085円
諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	143,357円	8,714円
パート収入(使用料、手数料等)	33,227円	182円
貯金の取り崩し(基金繰入金)	4,250円	-376円
(※取り崩し前の貯金残高 4	7,340円)	
銀行からの借入(市債)	24,942円	-14,605円
計	300,000円	

《支 出》	令和4年度	前年度との比較
食費、医療費、光熱水費 (人件費、扶助費、物件費)	136,360円	3,217円
ローン返済(公債費)	29,476円	236円
家の増改築など(投資的経費)	39,071円	-3,986円
家・車の修繕費(維持補修費)	2,560円	17円
保険料、各種会費など(補助費)	58,771円	-143円
子どもへの仕送り(繰出金)	21,098円	696円
貯金(積立金)	840円	82円
その他の生活費	11,824円	-119円
計	300,000円	

令和4年度の主な施策

デジタル田園健康特区への取り組み

国家戦略特区「デジタル田園健康特区」に当市と岡山県吉備中央町、石川県加賀市が選ばれました。令和4年度から3自治体で連携しながら、デジタル技術の活用によって、地域における健康、医療に関する課題の解決に重点的に取り組んでいきます。

取組内容(一部)

在宅医療における看護師の役割拡大

- ●地域の**医療機関、診療所、訪問看護ステーション等と の連携**の下、患者の居宅において、一定の研修を経た **看護師が医師の指示を待たずに医療行為を実施**する ことを検討
- ・医療機関等:諏訪中央病院、 訪問看護ステーション(3団体)



- 【実施する行為(例)】
- ・便秘に対する浣腸、下剤 の投与
- ・疼痛がある患者への鎮痛
- 剤投与 ・酸素投与の開始・調節
- ・超音波検査のオーダー・

実施 等

AI、チャット機能を活用した遠隔服薬指導等



患者が自ら測定した バイタル情報に基づき、 アルゴリズムAIが作動





SNSを用いた、

チャットでの非同期

コミュニケーション



其太政策

4 コロナ対策観光産業強化事業への支援

事業費 510万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により、厳しい経営を強いられている宿泊業・飲食業等の観光関連産業に対し、ポストコロナに向けた対応が急務になっています。

今年度は、ちの観光まちづくり推 進機構が取り組むコロナ対策観光 産業強化事業に対して補助し、変 容した旅行需要や、他業種連携、 別荘活性化といった茅野市独自の 観光まちづくりの課題への取り組 みを促進します。

基本政策

5 河川自然災害防止事業 の推進

事業費 1億40万円

令和3年9月の豪雨災害など、近年 増加している豪雨災害に対応するため、令和4~7年度の間に、集中的 に河川改修事業を実施します。 今年度は、ヨキトギ川、田沢々川



基本政策

8 地域DXの推進

事業費 2.500万円

令和4年度を茅野市のDX元年と 位置付け、市民が暮らしやすさを 実感できるサービスの提供と、付 加価値の高い新たな産業と雇用を 創出することを目指し、地域DX を推進します。

今年度は、地域DXを民間と一体で力強く推進するために、DX推進に向けた具体的な事業などを盛り込んだ基本計画を策定します。

基本政策

1 新型コロナウイルスワクチン接種の実施

事業費 1億7.149万円

新型コロナウイルスワクチン接種を 迅速に実施するため、市内医療機 関および健康管理センターで接種 を行います。



基本政策

2 永明小中学校の建設

事業費 11億3.168万円

永明小学校と永明中学校を、施設 一体型で建替事業を進めていま す。今年度は、昨年度に引き続き、 校舎建設に取り組みます。



基本政策

3 既存住宅エネルギー自立 化補助金によるゼロカー ボンの推進

事業費 500万円

八ヶ岳西麓 3 市町村の共同宣言に基づき、再生可能エネルギーの導入を促進するため、県の既存住宅エネルギー自立化補助金に加え、補助制度を新設します。屋根置き型太陽光発電設備と蓄電池を同時に設置する場合は10万円、蓄電システムのみ設置する場合は5万円を限度に補助をします。

令和4年度の主な施策

令和4年度当初予算は、3つの重点テーマを展開する事業について必要な予算を重点配分するなど、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、ポストコロナ時代の新たなまちづくりをスタートさせるための、「一歩先の未来へ踏み出す予算」を編成しました。

令和4年度重点テーマ

「安全・安心なくらしの実現、安定した経済基盤の確立」

「DX推進による便利で暮らしやすいまちの実現」

「第5次茅野市総合計画の検証と組み直し」

基本政策と取り組み

- ① お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり 【保健・医療・福祉】
- ② 生涯を通じて学び続け、未来を切り拓く、心豊かなひと育ち【子育て・ 教育・文化】
- ③ 八ヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市づくりと安心な市民生活の確保【環境・市民生活】
- ④「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」活力と活気あふれるまちづくり 【産業経済】
- ⑤ 豊かな自然と共生した安心・快適なまちづくり【都市基盤】
- ⑥ やさしさと活力あるまちづくりを支える持続可能な行政経営【行政経営】
- ⑦交流人口・関係人口 増加対策 【地域創生】
- ⑧「若者に選ばれるまち 交流拠点CHINO」の実現【DX推進】